

予算委員会 質問要旨

2025 年 1 月 31 日
立憲民主党 階 猛

- ① 政府、日銀は物価を上げたいのか、下げたいのか【総理大臣、日本銀行総裁】
- ② 名目賃金が上がってきている今、やるべきことは物価を抑えること。物価高の原因である円安を是正するための方策如何【総理大臣、日本銀行総裁】
- ③ 日銀が利上げしても円安傾向に歯止めがかからないのは、利払い費の増加で国家財政が厳しくなったり、日銀が債務超過になったりするおそれがあるため、金融政策を正常化できないと見られているからではないか【日本銀行総裁】
- ④ 賃金上昇が進む中で「賃上げ促進税制」を継続する合理性【総理大臣】
- ⑤ 最低賃金も上昇する中で「130万の壁」が人手不足による供給制約を招き、さらなる物価高を招くのではないか【総理大臣】
- ⑥ 現在の政府の「130万の壁」対策につき、「全く意味がないと思っていない」とする12月5日の総理答弁に関するエビデンスについて【総理大臣】
- ⑦ 当該「130万の壁」対策を恒久化することの意味について【総理大臣】
- ⑧ 政府は「106万の壁」の見直しも進めているが、政府案によって零細企業の被用者を含めて「週20時間の壁」による「働き控え」、「働かせ控え」、「適用逃れ」が生じないか【総理大臣】
- ⑨ 上記「20時間の壁」問題を防ぎ、「130万の壁」とその後の「週30時間の壁」をスムーズに乗り越えられる、立憲民主党「社会保障の壁」対策を導入することへの見解【総理大臣】
- ⑩ 立憲案につき「全体から見て本当に公平か、財源をどこに求めるか」との疑問を呈した、12月5日の総理答弁の根拠について【総理大臣】
- ⑪ 一昨年の予算委員会で、自民（平）、公明（西田）より「社会保障の壁」による手取り減少分を給付で穴埋めすべきとする主張をしていたことを踏まえての立憲案への評価【総理大臣、平国務大臣、中野国務大臣】
- ⑫ 上記を踏まえ、当面の「130万の壁」対策と、将来的な「3号被保険者」制度のあり方につき与野党で協議の場を設けることへの見解【総理大臣】

以 上

パネル・配布資料あり